



## 地区活動方針

### 「原点を知り、考える」

国際ロータリー第 2790 地区

2015-16 年度 ガバナー 櫻木 英一郎(千葉 RC)

#### 1. 始めに ご挨拶

昨年度の宇佐見透ガバナーの後を受けて当地区のガバナーを務めさせていただきます。そして昨年度の「原点回帰」の延長で本年度はロータリーの基本的な事に焦点を当てて行きたいと思えます。「ロータリーを易しく理解する」事から再出発です。

どうぞ宜しくお願い致します。

#### ロータリーの年度

ロータリーの毎年はガバナーエレクトが 9 月、11 月のガバナーエレクト研修セミナー (GETS) でガバナーの基礎勉強をし、年が明けた 1 月にはサンディエゴでの国際協議会で RI 会長エレクトのテーマや活動方針を学ぶことに始まります。

#### ガバナーの役割

国際協議会で RI 会長エレクトから示された活動方針を地区に持ち帰り、ガバナー年度に地区内でそれを周知し、実践するのがガバナーの役目です。ガバナーは RI 会長から RI 方針の元での地区の運営を任せられます。よって RI の執行側の立場であり、RI の役員という位置づけです。いわば地区における RI 会長代理の役を務めます。

#### 2. 国際ロータリー (RI) の動き

##### 2015-16 年度 RI テーマについて

##### …世界へのプレゼント

ご承知のようにラビンドラン RI 会長のテーマは「Be a gift to the world」です。このテーマは 100 年前にロータリー財団の基礎を築いたアーチ・クランプ PRIP の Doing good in the world に勝るとも劣らない素晴らしいテーマだと思います。皆さんは本年度のテーマをどのように解釈されるでしょうか？

日々の活動の中で折に触れて思い出して解釈してみてください。

本年度は言われた事を聞くだけではなく、「考えてみる一年」にして頂きたいと思えます。

#### 理論主体の団体から実践重視の団体へ

RI は 1990 年代からロータリーを実践重視の団体と考えるようになり、事業活動でより高い効果を得るための方策も次々に提示して来ました。その基本となるのがロータリー戦略計画であり中核的価値観、活動の重点分野などと言われるものです。これらの内容は継続です。ロータリー戦略計画とはどんなものか？ 中核的価値観とは何か？一度インターネットで調べてみて下さい。

#### 陰徳の団体から認知される団体へ

事業を効果的なものにし、組織強化や会員増強をする為にロータリーを社会に認知してもらう様々な方法があります。新しいロゴマークや、ロータリーを正しく広報する為の要素としてのロータリーボイスなどです。その言葉だけでも調べてみて下さい。

これらを効率よく行うためにオンラインツール、SNS などのインターネットの活用が不可欠となります。

#### 変化を受入れる

地球上の 46 億年に亘る生物の歴史で環境の変化に対応できたものだけが生き残りました。強大な力を持ち巨大化した生物の多くは絶滅しました。皆様のクラブや会員個人の活動はどうでしょうか？上手く変化を受入れているでしょうか？一部のメンバーの力による親分支配などはないでしょうか？全員が活動しやすい形態に変えてゆかなければ組織は永くは続きません。

#### 3. 地区の方針

##### 原点を知り、考える

地区行動目標は「原点を知り、考える」です。これはロータリーの諸事を考える場合の基本姿勢です。例えば、1905 年にロータリーが誕生したという事実を知るだけではなく、その当時の時代背景を知り、その後の影響を考えることでより深くロータリーを理解できます。

## ロータリーをやさしく理解する

「ロータリーは難しくて理解できない」という言葉をよく聞きます。これがロータリーへの熱意や興味を減少させ、やがてはロータリー離れに繋がります。そこでまず第一歩としてロータリーを易しく理解する事から入ることが有効だと考えます。その後理解を深め意識を高めて行けばロータリーに対する尽きる事のない興味が湧きます。これが活性化に繋がっていきます。

## 目指すところ

その究極の目標は、ガバナー候補を沢山作る事、ガバナーになる人を増やす事にあります。これには地区の慣習、ガバナー選出の制度、地区やクラブや会員の意識などがその方向に向かなくてはなりません。中でも一番重要な要素は会員の皆様の意識の活性化です。

ガバナー候補が多く出る為には地区が活性化しているという要因が必要であり、ガバナー候補が安定して続けば地区が活性化するという結果をもたらすと信じます。良好なスパイラルが必要です。

## 4. まとめ

### R I 方針とクラブ

ロータリーは非常に幅広い活動をしています。ロータリー財団が主導する地球規模の活動も皆様のクラブや個人が行う地域密着の活動もロータリーです。その両方に目を向ける必要があります。

その活動の根本はロータリーの理念です。ロータリーは政府や国連、WHOなどとは異なり、任意の個人で構成される民間団体である事が基本だと考えます

## クラブ会長の意識・権限移譲

実際にはクラブ会長は楽ではありません。クラブの行事や委員会の事業、委員会の活動などに加えて他のクラブの行事や地区の行事などに出席を要請されます。すべての用事が会長に集中する現状・・・そこに何かの改良策はないでしょうか。

そういう忙しい会長の業務を分担するのが委員会です。各委員会が担当する分野では委員長が最高権限者であり、会長はクラブの長として最終責任者であればいいと思います。そうすれば会長は会長が本来考えるべき事を考え、実行する事が出来ます。これには自分の委員会に会長が出ない事を「非協力」と思わない委員長の意識も大切です。

## 苦勞と徒勞

常に次の年度がやり易くなるように毎年毎年の前進を心がける事が必要です。自分一年だけで終わる苦勞は徒勞であり、次の年度の為にする苦勞は徒勞ではありません。毎年が実験で過渡期です。

## クラブの限りない前進の為に

過去の会長さん達はその時に於ける最善の活動をされました。しかし時に応じて状況は変わります。そこで、皆さんはご自分の年の最善を尽して下さい。当然、これは過去のやり方と違うでしょうが勇気を持ってそれをやって頂きたいと思えます。そしてご自分の次の年度にはその時の最善があることを認めるべきだとお考え下さい。

## 略 歴

氏 名 櫻木 英一郎  
(さくらぎ えいいちろう)

生 年 月 日 1949(S24)年 8月 19日

職 業 分 類 不動産賃貸

所 属 ク ラ ブ 千葉ロータリークラブ

最 終 学 歴 早稲田大学 商学部

認 証 マルチプル・ポール・ハリスフェロー  
米山功労者

ロータリー歴

2001年3月26日 千葉ロータリークラブ入会

2008-2009年 同クラブ 幹事

2013-2014年 同クラブ 会長

2014年5月15日-6月30日

R. I 第 2790 地区ガバナーノミニ

2014年7月1日-2015年6月30日

R. I 第 2790 地区ガバナーエレクト